

貿易赤字 単月で最大

1月 3兆4966億円に

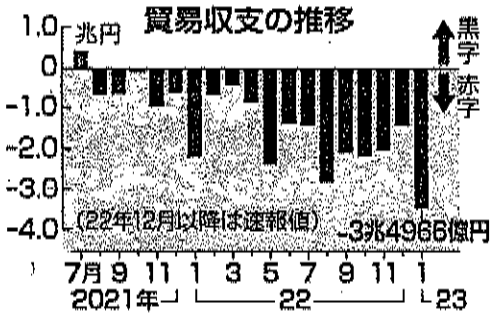
財務省が16日発表した1月の貿易統計速報(通関ベース)によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は3兆4966億円の

赤字となりました。資源価格の高騰や円安によって輸入額が大きく膨らんだことが主因。

輸出総額は前年同月比3・5%増の6兆5512億円、輸入総額は1979年以降で過去最大でした。赤字は18カ月連続。

対中国は輸出額が17・1%減の9675億円と低迷した一方、輸入額は12・3%増の2兆3906億円と1月として過去最高でした。

自動車関連や半導体製造装置の輸出が落ち込んだ一方、スマートフォンなどの通信機の輸入が伸びました。



■ 1月の貿易統計

	輸出額	輸入額	差引額
総額	65,512	100,478	▲34,966
	(3.5)	(17.8)	(-)
【主要貿易相手別の内訳】			
中国	9,675	23,906	▲14,231
	(▲17.1)	(12.3)	(-)
米国	12,310	9,504	2,807
	(10.2)	(21.5)	(▲16.1)
EU	6,763	8,501	▲1,738
	(9.5)	(▲2.4)	(-)

(注)通関ベース。単位億円、億円未満四捨五入。カッコ内は前年同月比増減率%。▲は赤字または減。-は比較できず

輸入額を品目別に見ると、石炭が93・3%増、液化天然ガスが57・0%増、原油が35・3%増。ロシアのウクライナ侵攻によって資

源高に拍車がかかったほか、円安の進行が響きました。輸出額の伸びには米国向けの自動車、メキシコ向けの軽油などが寄与しました。

国別の貿易収支では、対中国が過去最大となる1兆4231億円の赤字。対米国は2807億円の黒字でした。

対中国は輸出額が17・1%減の9675億円と低迷した一方、輸入額は12・3%増の2兆3906億円と1月として過去最高でした。

自動車関連や半導体製造装置の輸出が落ち込んだ一方、スマートフォンなどの通信機の輸入が伸びました。

対中国は輸出額が17・1%減の9675億円と低迷した一方、輸入額は12・3%増の2兆3906億円と1月として過去最高でした。

国別の貿易収支では、対中国が過去最大となる1兆4231億円の赤字。対米国は2807億円の黒字でした。